

**【4月7日(日)開催】 “同世代の学生たちと一緒に難民問題について考える”**

**高校生主催イベント「KD TOKYO 2019 —難民問題は、じぶんごと?—」**

## 登壇者プロフィール



### 忍足謙朗氏

30年以上にわたって国際連合に勤務し、1989年からは国連世界食糧計画（World Food Program -WFP）に勤め、特に紛争地、自然災害地などで緊急食糧支援を行う。2006年にスーダン共和国にて、当時、世界最大規模の緊急支援を指揮。77国籍からなる、3,000人のスタッフを統括する。2009年から2014年、WFPアジア地域局長に就任。タイ、バンコクをベースにアジア14カ国の支援の総責任者となる。紛争が続くアフガニスタンから、政治的に複雑な北朝鮮などの現場にも何度も入り、指揮をとる。この道のリーダー的存在として2006年にTBS「情熱大陸」、2014年にNHK「プロフェッショナル—仕事の流儀」に出演する。2014年に国連世界食糧計画（WFP）を引退後は、日本で国際協力の分野に興味を持つ若い世代の育成に力を注ぐ。大学での講義、中高生や一般向きの講演、外務省やNGO主催のセミナーなども精力的に行う。著書に「国連で学んだ・修羅場のリーダーシップ」文藝春秋社2017年発行がある。

### 安田菜津紀氏

1987年神奈川県生まれ。Dialogue for People（ダイアログフォーピープル）所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に2012年、『HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-』で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ 陸前高田に生きる』（ポプラ社）、著書に『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』（新潮社）。『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』（日本写真企画）、他。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

